

そのお悩み

サポート企業に お任せあれ

photo & text : 隅本 辰哉

ショップの皆さまに役立てていただけるサポート企業紹介の第2弾です。今回は WPC 処理 & DLC コーティング、それに指針式メーターの分解修理に関するプロフェッショナルのご紹介になります！

トップチームから依頼殺到

主に内燃機関連の部品に対して WPC 処理と DLC コーティングを行い、二輪も四輪もメーカーから国内外のレースにおけるトップチームに至るまで顧客とする不二 WPC。社名にもある WPC 処理とは微粒子を打ち付ける処理で、効果として表面を硬くして疲労強度を高め、表面のディンプルにより油保持性能を高めて摺動抵抗を下げ、見た目を綺麗に整えることが可能となる。

また DLC コーティングは直訳のダイヤモンドライクカーボンが示す通り、非常に硬くなり耐摩耗性がかなり上がるのだという。加えて見た目が精悍なブラックとなるため、エンジン内部パーツの他に F フォークのインナーチューブへの施工も増えているそう。ちなみにマトブラック DLC やレインボー

DLC も可能なんだとか。

DLC コーティングによる美しい見た目に興味が湧くが、不二 WPC では WPC 処

理が前提。これをハイブリッド DLC コーティングと呼び、WPC 処理の後にラッピングと言われる磨き工程（突起部分まで均一に磨く特殊な作業）を経てから仕上げ的に DLC コーティングを施すのだ。すると、より効果的に耐摩耗性、耐久性、耐凝着性、耐摺動性などが向上する。

注意して欲しいのが依頼はショップから、そして分解洗浄後の施工希望部品を送る事が基本となる点。さらにコーティングを含めてミクロン程度なので厚みが出ることはなく、あくまで表面を整える処理によって効果を生み出すという点を理解して欲しいそうだ。



統括兼営業部長、工場長：草野勝彦さん

焼付きと摩耗を防げる表面 処理、いかがでしょうか!?



左は WPC 処理+ハイパーモリシット（磨き工程）。右は下側が WPC 処理のみ、上側は未処理のピストン



黒い方は WPC 処理+3D ラッピング（磨き）+DLC コーティング、もう片方は WPC 処理を施した GPZ900R 用ミシオン



上から順に DLC コーティング、マッドブラック DLC コーティング、レインボー DLC コーティングされたインサートチューブ

対メーカー、対トップチームとの契約による守秘義務に引っかかる物だらけな工場ゆえに、なんとか撮らせてもらえた Lab 棟。ここで製品の表面形状、硬さ、圧縮残留応力測定、各摩擦摩耗試験を行い、より良い表面処理が提供できるよう日々開発が続けられている